

丹後農業実践型学舎研修情報（1月）

- ダイコン、聖護院カブ、ハクサイ、キャベツ、ブロッコリー、ニンジンを収穫・調整し、加工業務用での出荷や直売所販売を実習した。
- 「農産加工開発実践研修」「マーケティング論」を受講した。
- 「学舎用地補完工事立ち会い」「加工用キャベツ病害虫防除研修会」に参加した。



ダイコン 出荷



ニンジン 調整・出荷



農産加工開発実践研修



マーケティング論講義



学舎用地補完工事立ち会い



加工用キャベツ病害虫防除研修会

研修を通じての学舎生の所感（抜粋）

加工野菜の収穫、出荷調整作業に慣れたため効率よく作業ができた。

加工用ダイコンの出荷が終わり満足のいく量を出荷でき嬉しく思う。

ダイコンの収穫は年内に終わらせるように計画を立てなければならないと思った。

ニンジンが草に負けてしまったにもかかわらず大きくなっていたが、股割れが多く見られた。

ニンジンの収穫も終わり、出来は良くなかったが２年目に向けて反省点を活かしていきたい。

ハクサイを直売所で売りたいが、ハウスで栽培されている綺麗なハクサイがあってもなかなか売れない。売れるいいものを作れるようにならなければならないと思った。

キャベツ栽培講習会に参加し、シロイチモジヨトウの被害作物が地域によって異なることに危機感を覚えた。ネギを基幹作物にしているので、ネギの被害写真は衝撃的だった。

体調を崩してしまい作業に参加できない日があり他の学舎生に迷惑をかけてしまった。風邪やインフルエンザが流行っているので体調管理を万全にしていきたい。